

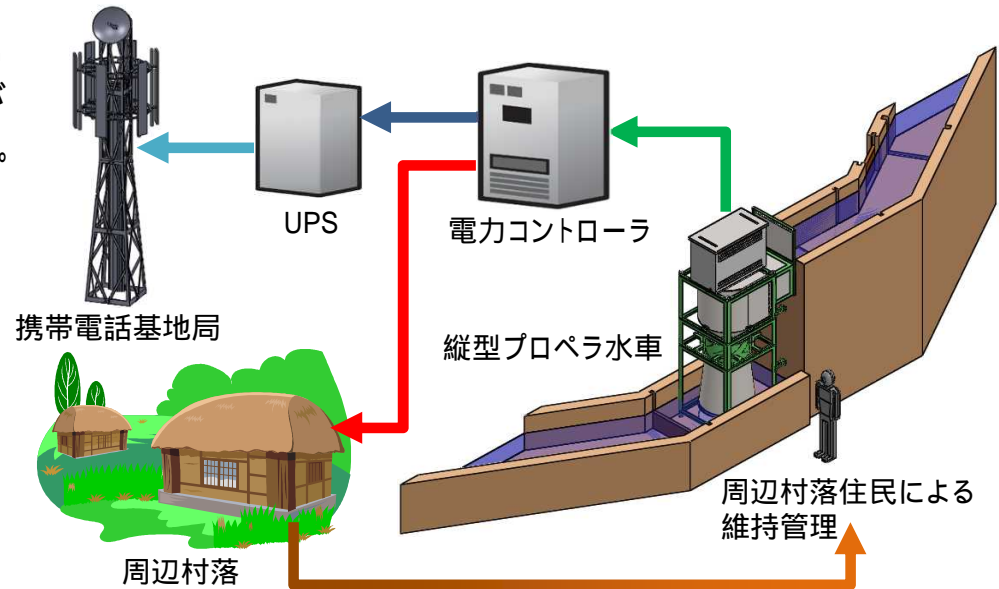
リノベーション・実証の概要

インドネシア国には無電化地域の携帯電話基地局が約12,000局あり、その電源にディーゼル発電機が使用され、年間約13,000L/局の軽油を消費している。

本プロジェクトでは、この基地局の電源にマイクロ水力発電を適用し、現地仕様にリノベーションを行うためジョグジャカルタ特別州において実証を行う。

本水車は、低落差で発電し、且つ構造を簡素化することにより、コンクリート構造物を含めた耐久性の向上と低価格を実現し、現地への普及を図る。

これにより、軽油消費の削減によるCO₂の大幅な削減を狙う。



対象とする国・地域の概要



地図データ©2015 Google

インドネシア国:ジャワ島中央部に位置するジョグジャカルタ特別州。マイクロ水力発電に利用可能な農業用灌漑水路が多く存在する。

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

STEP1:インドネシア携帯電話電源Slerとの協業(2016年度)

STEP2:インドネシア携帯電話通信会社(携帯電話基地局)への販売(2016年度)

STEP3:地方税務局(無電化村落)への販売(2017年度)

普及の見込み

導入ポテンシャルに富む無電化地域が多数存在し、携帯基地局:120,000局の内、約10%が無電化地域に存在する。2020年に3%、2030年には10%への普及を見込む。